

2021年度 成果

コロナ拡大でイベント中止が影響した一方、企業連携モデルの強化を推進。トヨタレンタカー連携では観光客が多い地域性に着目し、ごみ拾い機会を創出。沖縄就航60周年の節目となるANAとはグループ会社や関連会社に働きかけ一般参加も可能なごみ拾いキャンペーンを実施。タカラトミーの人気ボードゲーム「人生ゲーム」とコラボした美らビーチクリーンプロジェクト版人生ゲームを製作。県内小学生に向けた発信を進行中で、遊びながら海洋ごみ問題を学ぶきっかけを作る。漂着ごみ拾いに取り組むプロジェクトマナティと連携し、市街地で行うごみ拾いイベント「街マナティ」を定期開催。近隣の企業を巻き込んだイベントとして浸透させコミュニティの育成を図っていく。コロナで動員数が制限された一方、企業や団体との連携強化による新たな企画を仕掛けることができた。



この活動に参加されたお客様にも海への思いを考えていただくきっかけともなりたい



企業連携モデル「ANAグループ」
観光復活に向け沖縄就航60周年のANAグループ関連企業と連携。60日間毎日清掃をリレーする「ANA美らビーチチャレンジ60」企画や海洋ごみ講習を実施、取り組みを機内誌で紹介予定。



企業連携モデル「タカラトミー」
タカラトミーと連携し、人気ボードゲーム「人生ゲーム」の美らビーチプロジェクト版を製作。教育庁を通じて県内小学生の利用を促進し、ごみ問題への関心を高める。



国際通り連携モデル
漂着ごみ拾いを手掛けるプロジェクトマナティと連携し国際通りで「街マナティ」を開催。街中での定期開催により参加するハードルを下げ、コミュニティ化・ムーブメント化を図る。

その他：海洋ごみ問題出前授業の実施、スポGOMI甲子園予選の実施、商品化企画を進行中

メディア露出



10/11 「海DO宝」街マナティ



11/3 「海DO宝」スポGOMI甲子園



11/8 「海DO宝」レンタカーでごみゼロCP



11/15 「海DO宝」海洋ごみ問題啓発出前授業

その他：TVCM40本 WEB記事7本 新聞1紙 掲載

2021年度の課題とこれからの展望

- ・コロナ禍でも非接触でごみ拾い可能な代替企画を構築した。大型イベントなど従来の大人数の集める方法と両軸で連携モデルを確立し、持続可能なごみ拾い連携モデルの認知と参加者数を拡大させていく。
- ・海岸や街中で集めたごみを保管したり処分する十分な体制が整わない問題について、行政・企業・市民団体と連携し、集めたごみをスムーズに処分できる待機ごみゼロ活動に取り組む。
- ・県内のごみ拾い活動情報をWEBで集約公開するプラットフォームを目指す。ごみ問題の啓蒙とごみ拾い活動の参加者増により、5年後、約2割とされるポイ捨てする人を約1割に減らす活動に取り組む。